

西南学院大学・ 図書館報

新入生特集

大学生と読書

自己の成長を確かめる座右の書

図書館長 門田見 昌明

新入生の皆さん、入学おめでとう。
図書館は今、増改築中ですが、夏休み
あけには新築棟が完成することになっ
ています。多少の不体裁と不便は、よ
り良いものの創造へのしばしの待機と
思ってください。

ところで諸君もまた、学ぶために大
学に席を置く「発展途上の存在」として、
未熟・未完成・無知の自己をしかと確認
しているかと思います。そう思うこと、
そう思えるようになることが、「偉大
なる未完成」への一歩前進・一歩成長だ
と思うからです。人生に完成はなく、
理想に向かって、ただひたすら謙虚に
努力を続けるプロセスこそが人生なの
だと思うからです。

僕が学生だった頃、ある先生がゲー
テの言葉として言われたことを思い出
します。偉大な書物、古典といわれる
書物というのは、読み返すたびに新し
い発見があるということでした。その
先生は、漱石の「坊ちゃん」「吾輩は猫

である」「こころ」などをあげ、5年・10
年・20年と、読み返すたびに前に読ん
だときにはよく分からなかったこと、
読み過ぎていたところが、少しずつ
分かるようになってきた、そこに自己
の成長のあかし、思索力の深化を発見
する喜びがあったということでした。

生涯の伴侶としての「一冊の本」につ
いて、齊藤末弘先生は図書館報の前号
で、朝日新聞のアンケートからの「聖
書」「論語」「歎異抄」「万葉集」「漱石全
集」をあげておられました。僕は、「日
本国憲法」「国際連合憲章」、最近公式
翻訳のでた「児童の権利条約」やユニセ
フの「世界子供白書」も良いと思います。
考え方・学び方を学ぶための書物は最
も基本的なものです。多くの先生方の
読書体験談、読書指導に耳を傾けてく
ださい。「求めよ、そうすればあたえ
られるであろう」まずは、図書館に來
て、読んでみて、座右の書を発見して
ください。(文学部教授)

目 次

大学生と読書

| | |
|--------------|----------|
| 幅広い読書 | 真鍋 誠 …2 |
| 自分のタイム・テーブルを | 岩城富美子 …2 |
| 漢字文化圏の一員として | 新谷 秀明 …3 |
| 読書は「自己本位制」で | 大矢 繁夫 …3 |
| 目的意識をもった読書を | 中村 清 …4 |
| 法学部の新入生の皆さんへ | 今井 威 …4 |

情報の宝島探険

| | |
|-----------------|----|
| 新入生の図書館利用案内 | …5 |
| 複写機の利用方法が変わりました | …8 |
| 増改築進捗状況 | …8 |

大学生と読書

幅広い読書

文学部英文学科

教授 真鍋 誠

英文学科で学ぶ人々は、英米の作品を原文で出来るかぎり沢山読むのが当然のことだと考えられる。授業で用いられる作品は勿論のこと、それ以外にも初めは英語の表現の上で取っ付き易いものから始めて、様々な時代・ジャンルの作品に関心の赴くままに多読することによって、読書のよろこびを味わえるとともに、英語の読解力も自ずと向上するであろう。また一方では、翻訳を読むことも、入門書の類いで梗概や解説を要領よく知ってそれで事足りるとするなどよりは、はるかに積極的な意味があるといえよう。翻訳に誤訳は付き物であるかもしれないが、誤訳をあげつらうよりも一応割り切って読み進む方が賢明であろう。ただ、多くの作品の中には、原文でなければ読む意味がほとんどないものもあることは確かである。

学生生活では、単位取得など必要に迫られての読書という一面もあるであろうが、若い時の読書はその読む範囲を局限せずに、英米文学以外の作品を含めて、意欲的に幅広く読み続けることが、かえって豊かな結実をもたらすといえるであろう。いわゆる読書計画を立てる暇があったら、少しでも自分の関心を引いた本をすぐ手にして次々と読み通すうちに何か組織的なものができてくるであろうし、そのために、資料の充実した図書館を大いに活用してほしいと思う。

自分のタイム・テーブルを

文学部児童教育学科

教授 岩城富美子

新入生の皆さん、入学おめでとう。大学生活は今までの高校生活とは違って、まことに自由です。勿論卒業に必要な、あるいは希望する免許状取得に必要な、科目や単位数の大枠は決っていますが、それらをいつ、どのように、とるかは、各自の自主性に委ねられています。つまり四年間の生活を見通して、これにはクラブ活動やアルバイト？との兼ね合いも含まれますが、自分自身のタイム・テーブルを作ることが必要だと思われれます。

イギリスの小説家アーノルド・ベネット(1867-1931)は、『自分の時間-1日24時間でどう生きるか』(渡部昇一訳)の中で、面白いことを言っている。例えば「自分の習慣を変えるには、全部変えようなどと大きなことをしなくても、1週間に7時間か8時間、1日に割れば1時間くらい変えることによって大きな変化が起こる」と。私たち現代人はとにかく忙しい生活を強いられがちです。それは会社の仕事であったり、学校の時間割であったり…。ですがここでひとつ「自分の時間を発見すること」を、端的に言えば「読書の楽しみを発見すること」を、1日1時間でよい、設定してみようではありませんか。

児童教育学科の皆さんには、教育学や心理学等の専門書に親しんで頂くだけでなく、人文・社会・自然諸科学の幅広い知識を身につけ、人間性豊かな社会人になって頂きたいものです。新刊探索には季刊誌「ほんぼこ」利用も便利です。

大学生と読書

漢字文化圏の一員として

文学部国際文化学科

講師 新谷 秀明

様々な視覚的情報源が発達し、最近われわれは漢字を改めて考え直すことを忘れがちですが、それでもやはりある程度の漢字の知識を持つことが日本人の知的生活の最低限の条件となっています。

最大の漢和辞典とされている諸橋轍次の『大漢和辞典』には約5万の漢字が収録されているといます。これにくらべてわが国の「常用漢字表」に収められているのはたかだか1900字余り。もちろん中国人でも5万字をすべて知っているはずはありませんが、本家本元の漢字の海がいかに広いものか、これでわかるでしょう。われわれの漢字文化というのは言ってみればそこから流れ出た一本の支流にすぎないのです。

中国の言語・文化を研究しようとする場合、最も基本的な媒体である漢字に親しむことは重要な足掛かりとなります。後漢の許慎による『説文解字』以来、漢字そのものを研究した書物は日本にも中国にも限りなくありますから、そういうものを繙いてみるのもいいでしょう。しかしより大切なことは、大きめの漢和辞典をいつも手の届く所に置いておき、気になる漢字や漢語が出てきたら必ず引いて、よく読んでみることです。一つの言葉、一つの字からいろいろなことがわかると思います。現代中国にも古代中国にも通じる、広い世界が開けることでしょう。そうすれば次に読む本も自ずと決ってくるはずです。

読書は「自己本位制」で

商学部

教授 大矢 繁夫

「デスクには6台の電話を並べ、電話が鳴ると、受話器を肩にかけながら、それを受け、手は英文タイプのキーを打ちつづける。…クルマでパチンコ屋の前を通過して、昼間からパチンコをやっている人を見ると、『あゝ、あいつの時間を買いたいなァ』と本気で話す。」

これは、現代企業社会への辛口批評で定評のある佐高信が、日商岩井の元副社長・海部八郎を寸描したものである。佐高は、ある経済小説の中に登上する人物の、その実在のモデルを紹介しているのである。佐高信『経済小説の読み方』（社会思想社）という本での話である。

経済小説は、金・地位・利権をめぐる蠢く生身の人間の姿を暴きだす。そして、このような生身の個々の活動が、全体としての経済社会を織り上げているのである。生身の人間の恣意や行動を念頭におけば、勉強もいっそう面白くなるというものである。

ところで、上に述べたことは、いうまでもなく、1つの、簡単なガイダンスの類いにすぎない。“何か1冊ぐらい、手軽で有用な本を挙げておこう”といったほどのことなのだ。もともと読書は、「あらゆる書物の中に、他のだれにもわからぬ、自分だけにあてて書かれたように思われる一節を見いだす」ことに興奮を覚えるものであろうし、「深遠な思想や情熱は、あたかも鉱山の奥に眠っていて、それを受け取る力のある精神と心によって発見される」であろうから、他人からとやかく言われる筋合のものではない。だから読書には、自分が価値を尺度する「自己本位制」で臨めばよい。

大学生と読書

問題意識をもった読書を

経済学部
教授 中村 清

新入生諸君は、耐乏を強いられた受験勉強から解放され、今こそ我が世の春だと、この春を謳歌したい気持ちで一杯であろう。いわば“灰色”の受験勉強生活から解放されて、念願の大学生活が始まるとなれば、そのような気持ちになるのはまったく当然のことでもある。その気持ちはよくわかるし、また、青春の貴重な一時期を楽しく過ごすのも良いことであろう。

しかしながら、ここで、少し考えてほしいことがある。それは、自分は何のために大学に入学したのか？ また、大学生活というのは何であるのか？ 自分はこれからその四年間の大学生活をどのように過ごしたらよいのか？ ということである。そして、できるならば、それらのことについて、自分で考え、自分で解答を出し、これからの学生生活をしっかりとした軌道にのせてほしいものである。もしも、ただ漫然と、楽しい気持ちにのめりこむだけであるならば、四年間の大学生活は夢のように過ぎてしまい、成果ありと胸を張って卒業するはずのところ、空しい思いで校門を去って行くことになりかねないのである。

ところで、古典ものの文庫本や専門書を小脇にもって歩いている学生の姿を見るのは、傍目にも好ましく見えるものである。しかし、最近はそのような学生の姿を見ることが、少なくなってきたようだ。できれば、それが私だけの印象であってほしいとも思う。いうまでもないことだが、読書は、学生生活とは切っても切れない大切なその構成部分なのである。クラブやサークルの活動をするのもよい。友人と夜を徹して“だべる”のもよい。また、漫画やテレビ

を見るのもよいだろう。しかし、人生とは？ 大学とは？ 世界とは？ 学問とは？ 等々、自分の内から湧き出る問題意識をもちながら、読書をするということも決して忘れてはいけないのである。そして、四年間の大学生活の間に、自分なりの世界観や思想体系、専門的な理論体系を、しっかりと身につけてほしいものである。

法学部の新入生の皆さんへ

法学部
教授 今井 威

近頃の学生はマンガばかり読んで…などとよくいわれますが、マンガでない本をよく読んでいる人も多いのではないかと思います。ただ、専門書となるとどうでしょうか。大きな本屋さんでも、並べてある専門書の数は本当に少なくなりました。売れないからでしょうね。

しかし、幸いに図書館には、ふんだんに専門書が並べてあります。もちろん、専門書でないものも——。しかも、本学では、学生の皆さんが読む程度の本は殆ど開架式ですから、自分で手にとってみて、読みたいものを選べますから便利です。

そこで、これから法律や政治のことを勉強したいという新入生の皆さんにとって、さて、どのような本を選んだらよいか、ということになるわけですが、私は、少し乱暴な言い方ですが、手あたり次第でもよいと思います。法律・政治学関係の書架からいろいろ抜き出して眺めてみて、もしその中に興味のもてるものがあれば、その本を手がかりにして広げてゆけばよいわけです。

それから、先生達は、大抵、講義の最初の時間に参考書をお挙げになりますし、また、各科
(5頁左下に続く)



新入生の図書館利用案内

情報の宝島探検

大学に入学すると、高校時代とは違った専門的学問を勉強することになり、図書館を利用する機会が多くなります。そこで、今回は図書館を初めて利用する新入生の一太郎君と花子さんを通して、利用方法をご紹介します。

(1) 入館編

(図書館1階にて)

花子さん「図書館には50万冊も図書があるし、雑誌も置いてあるそうだからはいてみよう。」

一太郎君「そうだね。」

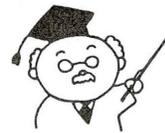
といて二人はカバンを持ったまま、とことこと2階へ上がっていきましたが、????

目ごとに指定図書というのがありますが、それらのものは、少なくとも一つや二つは、必ず読まなくてはけませんね。

いろいろな専門書も出ています。『ジュリスト』だとか、『法律時報』だとか、『法学教室』だとか、いろいろあります。法学部の閲覧室の後方の棚にならべてありますから自由に見ることが出来ます。さしづめ『法学教室』など、学生、一般向きという編集方針だそうですから、眺めてみたらどうでしょうか。解らないところはとぼして読んでかまいません。解らないところは、先生に尋ねれば、必ず親切に教えて下さる筈です。とにかく、そういう専門誌に親しむこともよいですね。

終りに、授業中はお喋りしないで静かに聴くように。

ここがポイント：バッグ等を持ったまま、図書館には入館できません。1階のロッカーに手荷物(バッグ、紙袋等)を入れて、2階カウンターで学生証を見せてください。これで、入館手続きはOKです。



(2) 案内編

(2階閲覧室にて)

花子さん「本当にたくさんの本があるね。ほらほら！ベストセラーズコーナーがあるよ。村上龍の『超電導ナイトクラブ』、この本読みたかったの。」

一太郎君「こっちには雑誌も置いてあるよ。学術的にかたい雑誌ばかりかと思ったら、『スキージャーナル』、『クロワッサン』、『シティ情報ふくおか』なんかもあるよ。」

一太郎君「今度は3階に行ってみよう。」

(3階閲覧室にて)

花子さん「3階は経済関係の本ばかりだけど、私が所属している英文学科関係の図書はどこにあるのかしら？」

一太郎君「そうそう、それに図書の背表紙についている番号はどういう意味かな。」

ここがポイント：花子さんが捜している英文学科関係の図書は4階にあります。学生の皆さんが利用できるフロアは2階から4階で、各階には次の関係図書をおいています。

- 2階……………一般教養・国際文化関係図書、百科辞典、哲学、歴史、自然科学、言語(一部)、日本文学など(英米文学以外)
- 3階……………商学、経済学、児童教育関係図書、経済、社会、教育、技術、工学、産業、芸術、美術。
- 4階……………法学、英仏文、留学生別科関係図書、法学、英語、フランス語、英米文学、日本研究、図書(英文)、各種の洋書

ここがポイント：図書の背表紙に貼付してあるシールの番号は図書館では請求番号と呼んでおり、図書の内容を数字で表わしているもの(日本10進分類法)で図書はこの番号順に並んでいます。ですから同じ請求番号が付いている図書の周りには同じ内容の図書が集まっていることとなります。

また、この番号は、図書の身分証明書番号にあたるもので、本を捜すときの重要なカギとなります。なお、図書内容をデジタル化した一覧表は、各閲覧室にあります。

| |
|-----|
| 780 |
| 69 |
| 3 |

左のような請求番号が、各図書に付けられていますが、これは上2段が図書の内容を表わし3段目が整理番号になっています。例えば、この左の請求番号を持った図書の書名は「オリンピックエピソード」です。内容をデジタル化した、上2段780.69は、分類法では「競技大会、オリンピック、国民

体育大会」を表わす数字で、3段目の3は、この分類番号の中で3番目に整理された図書であることを意味します。

(3) 検索編

(4階閲覧室にて)

花子さん「今度の授業に必要な『嵐が丘』(著者：エミリ・ブロンテ)は図書館に所蔵しているのかな？」

一太郎君「請求番号がわかれば、いいんだよ。でも、どうやって捜したらいいんだろう？」

ここがポイント：2階のカウンター前にパソコンがありますが、これで簡単に調べることができます。(使用方法はパソコン横に備え付けているマニュアルをご覧ください。)ただし、まだすべての図書情報が入っていませんので、3階にある目録でも調べてください。

目録は、大別して和書・洋書に分かれていて、それぞれに書名目録、著者名目録、分類目録があります。

(2階カウンター前にて)

一太郎君「僕も『英文経済記事の読み方』(日経文庫)をパソコンで検索してみよう。(検索後に)出てきた！請求番号(330.8.3-263)も分かったし、本を取ってこよう。」

花子さん「本あった？」

一太郎君「この請求番号の図書は3階にあるはずなのに、なかったよ。」

ここがポイント：皆さんが自由に利用している閲覧室にある図書のほかに多くの図書が書庫にあります。一太郎君が捜していた本もここにありました。

目録カードではカードの左上にCLOSEDのマークが付いています。この図書は、閲覧も貸出もできますので2階カウンターに申し出てください。

(2階閲覧室にて)

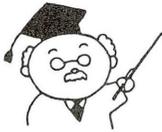
花子さん「何見てるの。」

一太郎君「ニューズウィークの日本語版。」

花子さん「去年のニューズウィーク(日本語版)におもしろい記事が載っていたけどね。」

一太郎君「でも、雑誌棚には今年のものしか入ってないけど。去年のなんて取ってあるのかな?」

ここがポイント: 以前に発行された雑誌や新聞は保存しています。貸出はできませんが、館内での閲覧はできますので、2階カウンターに申し出てください。また、図書館が所蔵している雑誌・新聞の目録が各閲覧室においてあります。



(4) 貸出編

花子さん「さっき見つけた本を借りようかな。」

一太郎君「でもどうやって借りるんだろう。」

ここがポイント: 図書と図書利用カードをもって2階カウンターへ来てください。係員が貸出の手続きをします。ここで注意してもらいたいことは、コンピュータで貸出処理をしますので、あなたの図書情報が入っている図書利用カードがないと、貸し出しができません。図書利用カードは学生証同様大切に保管してください。



花子さん「何冊借りれるのかな?」

ここがポイント: 貸し出し冊数および期間は、通常3冊15日間です。返却期限日は、図書の裏表紙に日付印が押してありますので、返却期限日を確認して遅れないようにしてください。図書の返却が遅れますと、他の利用者の迷惑になりますし、罰則金を支払っていただくこととなりますので、気をつけてください。



花子さん「50万冊も図書があるのに利用しないのはもったいないね。」

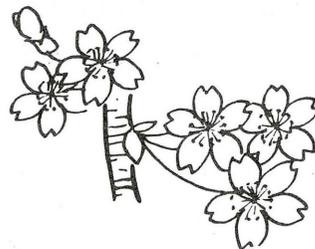
一太郎君「本当に! 図書館の本は、わたしたちの利用を待っているみたいだったね。」



図書館は、情報の宝庫です。学部の勉強以外にクラブの資料収集、資格取得のための勉強など、調べたいことがいろいろできますが、その時に困らないためにも、今から図書館を利用して情報収集の方法を学んでください。きっと、よかったと思える日が来ると思います。

また、どうしても資料が見つからない場合は、図書館員がお手伝いしますので、なんでもお尋ねください。

また、現在、図書館増改築工事のため、皆さんには大変ご迷惑をおかけしていますが、今年9月には、なお一層利用しやすい図書館に生まれ変わります。ご期待ください。



複写機の利用方法が変わりました

●コピーカード式

図書館利用者のために設置している複写機がコイン式から**コピーカード式**になりました。

コピー1枚の料金は紙のサイズ(A3・B4・A4・B5)にかかわらず1枚20円です。

●カードの販売と料金

カードはテレホンカードと同じサイズで複写機のそばにカード自動販売機を設置しています。カードの種類及び料金は次のとおりです。

| | |
|---------|--------|
| 25枚コピー用 | 500円 |
| 50枚コピー用 | 1,000円 |

カード表面に25、50とコピーできる枚数を表示しています。

なお、自動販売機では5円、10円、50円の硬貨は利用できません。

●操作方法

カードを使ってコピーするときに、カード読み取り機の中にカードを挿入するとコピー可能枚数が表示されます。あとは複写機本体とカード読み取り機のメッセージどおりに操作してください。

●複写機本体

複写機本体も新機種に変えました。2階と4階に設置しました。操作方法が分からないときは、係員におたずねください。

●複写できる資料・著作権保護など

図書館で複写できるものは、図書館所蔵の資料に限ります。複写に当たって、著作権、版權などに関する責任は利用者が負うことになっています。

※その他不明な点は、閲覧カウンターの係員におたずねください。

報 告

《人事異動》(図書館関係)

平成4年4月1日付

| | | |
|--------------|-------|--------------|
| 事務次長 整理課長 | 堤 義男 | 大学事務長に就任 |
| 教務部 事務次長 | 鶴 正道 | 事務次長・整理課長に就任 |
| 課長補佐 | 伊藤 邦厚 | 教務課に配転 |
| 司 書 | 佐藤 誠 | 係長に昇任 |
| 司 書 補 | 青木 真澄 | 整理課に配置 |
| 司 書 補 | 村山 有子 | 整理課に配置 |

《増改築進捗状況》

本年9月の前期試験期、増築部分の利用開始を目指して、ほぼ順調に進んでいる増改築工事は、今月末には壁面のタイル貼りが始まる予定です。

旧学習室の改造も、新事務室と第二参考図書室の間のパーティションが設置され、部屋のイメージが日増しに強くなっていきます。

編 集 後 記

「人間を真理にみちびくには、力づくによつてではなく、理性によってでなくてはならない」(『百科全書』デイドロ 1713~1784)

真理は、諸君を自由にする、とは図書館の究極の目標である。長いようで短い4年間の大学生活を有意義にしてほしい。(J)